

らぶれた

2026年
3月号

vol.107

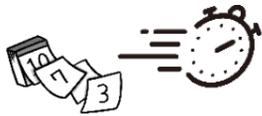
発行：株式会社ラプロス
発行人：代表取締役 樋口 繁樹
〒810-0001
福岡市中央区天神1丁目12番1号
日之出福岡ビル5階
TEL 092-737-2211
FAX 092-737-2212
弊社HPは下記よりご覧頂けます。
<http://www.lapros.co.jp/>
編集担当：大下

手洗い・うがい
今後も続けましょう



3月に入りましたが、寒暖定まらず春の訪れを待ちわびている今日この頃です。桜の蕾がふくらんでくるこの季節、日々の小さな変化を見逃さずに楽しむ余裕を持ちたいですね。

1月が行き、 2月も逃げ、 3月は去る！早っ～



2026年の幕開けのつもりが、あっという間に3月になりました。皆さんは今年のスタート2ヶ月は順調に運びましたか？運んだ方は『2度あることは3度ある』で3月も順調にいきます。そうでなかった方は、『3度目の正直』で3月は本領発揮となれば良いですね！

当社は長年4月決算でやって参りましたが、決算末がGWに重なり大型連休の取り方によって決算業務の進め方が変わることを避けるため、今期より3月に変更することにしました。というわけで本年度は11ヶ月決算で締めるので、例年にも増して不動産の動く初春の時期、業界あげての広宣活動に便乗しながら（^^）当社の営業マンも東へ西へ南へ（北は博多湾・・・）と駆け回っております。



そしてこの1月下旬より、新しい仲間が1名増えました。戸建、マンション、土地、仲介何でもOKのベテラン仕事師です！<本号のニューフェイス欄に登壇しますよ～（^^）>入社して1週間と経たずに春日の戸建用地の申込を取り、タイミング良く巡りあわせも良いスタートダッシュとなりました。年度末になると全社員が決算に向かい持ち場で全力を尽くす、当社のストロングポイントが今年も発揮されそうです。

プライベートでは、年明けてから大学の学科やら、部活やらの同窓会メールが立て続けに来て、そういうお年頃だわね・・・なんて思っていたら、中学の同級会をやらうと友人のO君から誘いがありました。僕とO君と二人、合わせて4名の同級会。名前は中学同級会ですが、幼稚園、小、中、高校と13年間にわたっての同級



生でもあります。今の時代の流れとは言え僕を含む3人は現役仕事中、1人は仕事については完全リタイアで、実家の母親の介護と、ボランティア活動で高齢者施設に出向いてギターを弾き語りなどをやっているそうです。近々会えるので皆で昔の話あり今の話ありで賑わうことでしょう、楽しみです！

そして2月8日の衆議院選挙。足を引っ張り合うようなニュースや記事がメディアに出たり、それによって争点がぼやけたり、開票するまでは読めないところですが、メディアによっては世論調査の結果で自民単独過半数、という言葉が飛び交っています、と書いたところで、いったん筆を止めていたのですが、するとどうでしょう！この原稿を書いているのは翌9日（月）、選挙の結果は自民党が単独過半数どころか2/3を超える戦後最大の圧勝！僕は高市総理を応援していますが、高市総理人気にあやかって自民大勝なんて直接選挙の米大統領選挙でもないのに変だよな～、と思いながら比例区は別の党に投票しました。安倍総理時代に自民1強が続いて閣議決定でほぼ物事が決まって、国会軽視状態になりましたが、その流れに戻した



くはありませんからね～。与野党拮抗の方が国会での議論が闊達になっていいでしょう、というのが僕の国政選挙に関しての基本姿勢。結果は地滑り的な自民党圧勝。法案は参議院でいったん歯止めはできますが、衆議院に戻せば通ります。『たかが一票』なのか、『されど一票』になるのか？結果は今回の比例は『たかが一票』になっちゃいました。でも応援した党は1議席伸びたから良しとしますかね。



代表取締役 樋口 繁樹

ラプロスの戸建プロスペリテ PROSPERITE

～売れ行き好調で土地が足りない？～

文：田中

こんにちは積みプラ田中です。何年も手付かずになっている仕掛中のプラモデルが多くあり、もうどこにいったかもわからなくなって…、いかんいかんと思ひ昨年は購入をかなり控えたつもりですが、積みプラタワーはなぜか高くなっていく。なぜなのか判りません（わかりたくない）。ああ罪プラ。



さて、今回は物件についての記事です。とは言ってもどの物件という話ではありません。昨年から特に強く感じ始めたのですが、土地の販売ペースが速くなっている（弊社比）ように感じます。もともと当社販売の分譲住宅や分譲地をご購入いただいたお客様は比較的速い判断で購入をしていただいています。とはいえ、それは販売の開始（広告の開始）からすぐ売れてしまうということではなく、お客様のお話を伺ってから購入の判断までが速いということです。それが昨年は



多くの方が物件探しで閲覧されているSUUMOなどの広告サイトなどで公になる前にあれよあれよという間に契約～完売することが増えました。

物件としては、現地の看板やInstagram、ホームページに顔出ししている程度の準備期間中、または未公開の段階でお問合せをいただき、素早い判断でご契約をいただいています。

これほど速く進捗する理由は、住宅検討者様の考え方の変化にあると感じています。ここ何年も様々なモノが値上がりしています。少し前までは、その中でも他よりもっと手ごろな価格で希望のものを手に入れたいと考えておられる方が多数でした。しかし結果として、物件を探して探してそれなりに時間



がたち、住みたい場所から離れたエリアも気づいたら価格が高くなり、また価格が下がるかなと期待していたもののが下がることはなく寧ろ上昇となり…。しかし現在は良い物件が出たらもう下がることはしばらくないのだから、さらに高くなる前に取得しようという考え方に最近の市況や今までの経験から変化しているようです。



ここでさらに変化が出たのが、皆様は闇雲に取得しようなどとはせず、立地などの目に見え

る良さだけでなく、希望としている建物がその土地でカタチになるのかというようなことをしっかりと確認されてから判断をされるのですが、そのスピードが速くなっている事です。結果、お問合せを頂いてから家族にとっての必要事項を確認し決断するまでのスピード感がとても速くなっているように見えます。決断できる材料が揃っているにもかかわらず決めあぐねる方は少なくなりました。無いものを探して、その間にはお金だけでなく家族の様々なものが費やされていく、ということにならないようにされているのかなと感じます。販売物件が追いつけなくなりそう。



結論

プラモデルも良いものが出たらさらに高くなる前に、無くなってしまいう前に手に入れることが大事であり、積みプラは罪ではない。ただし我が家を取り仕切ります大君主様には内密に。

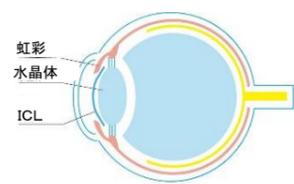


“ICL”体験記

—コンタクト生活に終止符を！—

文：大下

2023年4月に、「ICL」の手術をしました。ICL (Implantable Contact Lens/眼内コンタクトレンズ) とは、目の中に特殊なコンタクトレンズを挿入する視力回復手術です。



レーシックとは異なり角膜を削らないため、安全性の高い施術とされています。近視だけでなく遠視や乱視にも有効ですが、老眼の矯正はできません。それでも、40代くらいまでは眼鏡(老眼鏡)もコンタクトも不要の快適ライフを送れます。

元々私は左目が0.1、右目が0.01と、左右で10倍もの視力差がありました。眼鏡をかけるとまっすぐ歩けないため、生活はほぼコンタクト頼み。ワンデーコンタクトでさえドライアイがひどく、眼精疲労からくる片頭痛にも長年悩まされていました。

ICLの存在を知ったのはそんな頃、当時の同僚から「コンタクトを買い続けるよりもお得だし、眼内レンズだから乾燥もしないよ」と聞いたのがきっかけでした。医療機関にもよりますが、費用は40~60万円程度。ワンデーコンタクトを毎日使い続けた場合と比べて7年ほどで元が取れる計算になります。ICLの効果

自体は半永久的ですが、老眼になると老眼鏡は必要になります。つまり、最大限メリットを感じられるのは短く見積もっても約10年(当時31歳)。「悪くはないけど…」と悩んでいたところ、最後のひと押しになったのが、「地震とか水害とか、緊急事態のときに眼鏡を探したりコンタクトをつけたりする余裕って、無くない？」という同僚の一言でした。たしかに！それは盲点。幸いこれまで避難が必要なほどの災害に遭ったことは無いのですが、旅先の慣れない土地でコンタクトをなくして大変困ったことがあります。長期的な費用のお得さも大事ですが、ICLは“日常を快適にするための施術”。ちょうど転職を決めていたタイミングだったこともあり、有休消化中に手術を受けることにしました。



私としては手術中の事も臨場感たっぷりに語りたいところですが、苦手な方もいらっしゃると思うのでここでは控えめに。麻酔と笑気ガスのおかげで苦痛は殆どありませんでした。手術前に持たされた“モヤッとボール”(伝わりますかね?)を無意識に強く握りしめていたようで、掌がちょっと痛かったくらいです。実際の手術時間は両目で20分くらいだったようですが、体感では20秒。「いつ始まるの〜、ちょっと寒いよ〜」などと思っていたら、いつの間にか終わっていました。笑気ガスの効果でしょうか。その後看護師の方々に拍手で見送られながら



某クイズ番組のアレ

真っ暗な部屋に移動し、30分ほど目を休めて、その日は終了です。

術後1週間はメイク禁止、最初の3日間はシャワーや洗顔も禁止。さらに感染症防止のため、1か月間は医療用ゴーグルの着用が必須でした。就寝時は例外で、ウルトラマンのレンズのような透明な眼帯を貼り付けて寝ていました。ちょうどその頃にラプロスの面接を受け、「花粉症ですか？」と聞かれたのも良い思い出です。今思えば、すっぴんゴーグルで面接に来る人なんて第一印象としてはなかなか強烈だったかもしれません。ちなみにその時のゴーグルは、今でも我が家で玉ねぎを切る時に重宝しています。



医療用ゴーグル



保護用眼帯
(パンフレットより引用)

1週間後、1か月後、半年後と何度か検査を経て、今では手術したことを忘れるくらい快適に過ごしています。ここまでメリット多めで書きましたが、当然ながら感染症などのリスクもあります。個人差はありますが、光を以前より強く感じるようになったり(特に手術直後、雨の日の夜はライトの反射が辛かったです)、至近距離が見えづらくなったりするデメリットも。ご検討されている方はその点も踏まえた上で、自己責任で判断されてくださいな。

NEW! NEW FACE

1月より新しくラプロスの一員となった社員の紹介です。

住宅事業部

草場 浩之
(くさば ひろゆき)



ートの買取や仲介等を行いながら、マンション再生事業も勉強していきたいと思っています。

私自身が大切にしている事は、肩肘張らずに話せる関係づくりと、相手の立場に立って物事を考える姿勢です。ちょっとした雑談や何気ない日常会話の中からこそ、本当に必要とされている事や問題点などが見えてくると感じています。

これまでの経験にとらわれすぎることなく、皆さまのお話をしっかり伺うことから、心機一転始めていきたいと思っております。前向きに、楽しみながら仕事に取り組んでまいりますので、見かけた際にはぜひお気軽にお声がけください。何卒よろしくお願いたします。

皆様、はじめまして。このたび、株式会社ラプロスに入社いたしました草場と申します。

これまで同業界に営業職として携わり、多くの先輩方、同僚、後輩、そして何よりお客様との出会いに恵まれながら仕事を続けてまいりました。賃貸営業からスタートし、これまで分譲マンションの販売や、不動産仲介、不動産買取などを経験してまいりました。弊社でも営業職として、土地や住宅、アパ

Instagram・HPで 物件情報を 紹介しています！



販売中の物件、過去の事例等も掲載しています。ぜひチェックしてみてくださいな。



ご紹介キャンペーン

住宅のご購入を検討されている
ご家族様・ご友人様を
ご紹介ください

5商品券 万円分

ご紹介者さまにプレゼント！

※ご紹介者様からの紹介でご成約に至った場合

家や土地を売りたい方もご相談下さい！

ラプロスで、
一緒に働く仲間を
募集しています。



詳しくはこちら

編・集・後・記

文：大下

あつという間に3月になりました。この編集後記を書いているのは2月中旬ですが、そろそろ花粉の時期でしょうか。私は小学生の頃に一度だけアレルギー検査をしましたが、実に様々な花粉アレルギーに該当していました。多すぎて「夏以外全部辛い」としか覚

えていないくらいです。ちなみにりんごや桃も口内がかゆくなる等の反応が出るのですが、果物や野菜のアレルギーと花粉アレルギーには密接な関係があるそうです。個人差はありますが、例えばカバノキ科アレルギーの人はりんごも、スギ・ヒノキの人はトマト等のナス科も、といったようになります。タンパク質の構造が似ている為とか。

らぶれた一のご意見・ご感想をお聞かせください！

ラプロスの広報誌「らぶれた一」は2008年12月に創刊し、今号で107号となります。ここまで発行を続けることができたのも、温かく見守っていただいた皆さまのおかげです。皆さまのご意見ご感想をぜひお聞かせください！

住所：福岡市中央区天神1-12-1-5F
FAX：092-737-2212
MAIL：info@lapros.co.jp
「らぶれた一係」まで